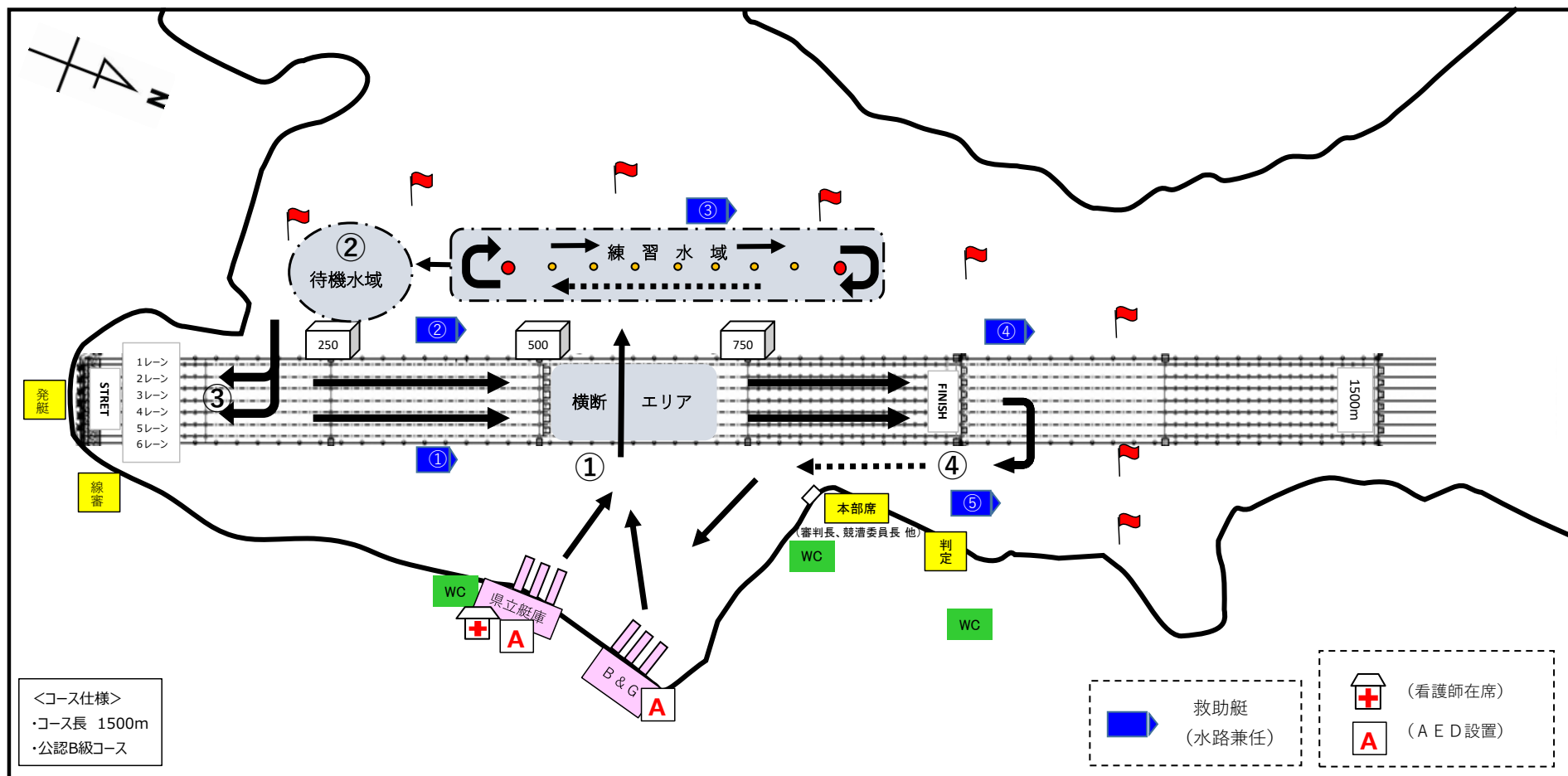


航行ルール（レース時）



- ◆ コースは対岸から1レーン、2レーン、3レーン・・・であり、県立艇庫側が6レーンである。
- ◆ コース対岸側には「練習水域」を設定している。（練習水域の航行ルールは時計まわりとする）

【出艇から帰艇までの流れ】

- ① レースに向かうクルーは、栈橋を出て500m～750mのコース内を横断し、一度対岸側の練習水域へ向かいアップを行う。
- ② 自身の発艇定刻が近づけば、「練習水域」から「待機水域」へ移動する。
- ③ 発艇からの呼び込みがかかった後、「待機水域」からコース内へ進入し、自己のレーンを通してスタート方向へ向かう。
- ④ フィニッシュ後は、本部席前を通して栈橋へ速やかに戻る。

（注意1）「**練習水域のコース側**」および「**本部前**」（矢印点線）を航行する際は、レース艇が近づいたら100m手前で停止すること。（違反クルーはイエローカードの対象となる）

（注意2） 対岸側の赤旗設置場所より沖側は危険水域であり絶対に超えないこと。

（注意3） 各レースがスタートしてからは、500m～750mのコース横断は禁止とする。レース状況をよく確認の上、横断すること。（レース通過後から次のレーススタートまでは横断「可」）

（注意4） 岸に近い所は浅瀬となっている。また、所々に竹杭などの障害物もあるのでまわりに十分注意すること。（久々子湖危険箇所マップ参照）